

会議状況等報告書							報告者	森川 陽子			
会議の名称		令和5年度第2回おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会									
日時		令和5年10月3日(火) 午後3時40分～午後4時10分					場所	江南市立図書館 (toko+toko=labo 1階会議室)			
出席者	委員	加古 有子	松岡 礼子	岡田 知之	竹内 紀人	鈴木 善博	平塚 友美	赤堀 路世	神田 由美		
		○	○	欠席	欠席	○	欠席	○	○		
	事務局	近藤 部長	田中 課長	永露 係長	小野 主事	森川 主事	村上 図書館長	小倉 マネージャー	上野 顧問		
欠席		○	○	○	○	○	○	欠席			
傍聴者 0名											
内容											
<p>1. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長あいさつ ・江南市立図書館 山本宗喜館長よりあいさつ 図書館館長歴は8年、最初がおおぶ文化交流の杜だった。その後清須市で館長を務め、昨年6月より江南市立図書館長に就任した。 <p>○施設概要・館内案内（江南市立図書館 視察）</p> <p>(山本館長) 昨年6月に江南市立図書館長に就任した際は、築46年の建物だった。今年4月に移転し、新たな図書館として現在の場所で開館した。旧図書館から変わったところは、敷地面積が約3.5倍に広がったことと、駅が近くなった。以前は江南駅から徒歩20～30分かかった。また、光が多く入り明るくなった。新しい図書館になってから、利用者数は約2.5倍増、貸出冊数も8月時点で昨年から2.5倍増の54,190冊だった。一番驚いたのは、レファレンス件数の増加で、8月時点で612件と昨年に比べて30倍ぐらいになった。新たな図書館を運営していくため職員内で、「どんな図書館にするか？」という内容を検討した。検討の結果、江南図書館では3つの特色をかかげた。1つ目に、「市民参加型図書館」ということ。みんなで作る、みんなの図書館を目指して、市民に広く親しんでもらえるようにロゴマークの決定を住民投票により行った。4つの案を提示し、ウェブや市役所での投票で約20,000人が投票に参加した。新しい図書館に期待感をもってもらい、市民が能動的に参加できる仕組みづくりができたと考えている。2つ目に「マイブラリー」を設置した。「マイブラリー」とは造語で、「わたしの(マイ)」「図書館(ライブラリー)」で「マイブラリー」とし、江南市にゆかりがある人に図書館内の一角にブースを作ってもらった。トップバッターは市長と図書館スタッフにお願いした。感銘を受けた本や、子どもの頃読んだ本など様々なテーマがあり、本を紹介してもらった。その人が読んだ本を知ることによって、「この人にはこんな一面があるんだ」と知るきっかけになって良かった。3つ目はイベントを開催した。図書館まつりを開催</p>											

するなど、参加者がサポーターに登録してもらうような呼びかけも行った。館長として図書館の敷居を下げたいと思っており、図書館に来るきっかけが最初は本を読むためだけでなくとも良いと考えている。そのため、多少の私語や持ち込み学習も許可している。また、江南市立図書館の特徴として、ボードゲームの貸出を行っている。27種類のゲームがあり、図書館内であればどこでも遊んでいいというルールにしている。駅が近いだけでなく、中学校や高校も近くにあるため、学生の利用が増えたと感じている。

○質疑応答

(委員) 図書は何冊まで増やす予定か。

(館長) 30万冊を予定している。今は半分ぐらい収容している。

(委員) 本を収集する際に何か分野など特化することは考えているか。

(館長) 何かに特化するのではなく、まんべんなく収集するよう考えている。

(委員) 分野で「ここが足りていない」と思うものはあるか。

(館長) ユニバーサルコーナーの棚にまだ空きがある。音訳、点訳を強化したいと考えている。外部のボランティアと協力して充実させられたらと考えている。

2. 議題

(1) 令和5年度4月～7月事業実施報告について

※資料1～5に基づき事務局説明

【意見交換】

(委員) 「第34回図書館子どもまつり」について、R4の参加者は1,000人ほどで、R5の参加者は2,000人と倍になった。その理由は何か。

(事務局) 1つ1つの催しの人数制限を撤廃したためと考える。

(委員) 昨年7月は、ちょうど子どものコロナの感染者数が増えており、お話し会などの人数制限を30～50人としていた。今年は、会場に入れる人数(80人ほど)に定員を増やすことができた。また、来場者に住所や名前など記入してもらわなくてよくなったことも要因と考えられる。コロナが終息し、外出したいという参加者の気持ちの表れのようにも感じた。

(館長) 熱中症アラートが発令される中での開催だったが、学生サポーターや図書館サポーターグループのスタッフ等に体調不良者が出なかったのがよかった。

(委員) P.1資料1の1(1)と(2)で、入館者数は増加がみられたが、貸出者数は増加にならなかった(90%)。貸出数は入館者数に伴っていないのか。

(館長) 7月に子どもまつりを開催し、来場者数は増加したが、貸出数は伸びなかった。以前は図書館が新しかったので来場者数が増え続けていたが、今後は来場者数を減らさないように新しい利用者を増やさなければいけないと考えている。新しいイベントを開催するなど足を運んでもらえるようなきっかけづくりが必要だと考えている。

(委員) 新しい切り口は必要だと思う。

- (館長) 毎回議題にあがるが、中学生・高校生の利用者が少ないので、もっと呼び込みたいと思っている。
- (館長) 期間中に発生した事故・ご意見について、ポータブルテレビを持ってきて聞いている男性がいた。使用をやめてもらうようお願いすると「子どもの声の方がうるさい。今度注意するぞ。」と言われてしまった。社会福祉協議会にも状況を報告しているが「もう少し様子を見よう。」という話になった。
- (委員) スタッフのフォローも大変だと思う。
- (事務局) 新聞を読むにはいいが、ルールを守らないのは他の利用者も見ており、カウンターに言いに来るので、対応しないといけなくなる。
- (館長) まだ問題は起きていないが利用者同士でトラブルに発展しないか危惧している。いつも夕方 17 時～20 時頃に来館するのでスタッフ内で情報と対応を共有している。
- (委員) 防犯カメラはあるか。何かあった時にどちらに原因があったか確認できるのではないか。
- (館長) (問題の利用者が使用している) 新聞コーナーにはカメラはない。
- (委員) スタッフは複数で対応するのか。
- (館長) トラブル防止のため、なるべくそのようにしている。
また、別の報告になるが、6月に豪雨があり施設内で雨漏りがあった(1階)。雨漏りの原因は屋根にたまったゴミが一気に流れ、排水管につまり施設内に漏れてしまった。資料に被害はなかった。
- (事務局) ゴミが少しずつなら流れたかもしれないが、一気に流れたため、つまりと逆流を引き起こした。今まで図書館でこのような雨漏りが起きたことはなかった。すぐに、施設の職員に屋根の掃除をしてもらったので被害の拡大を防ぐことができた。
- (委員) 定期的にメンテナンスが必要かもしれない。

3. その他

特になし

【次回開催連絡】

第3回おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会

日程：令和6年2月5日(月)午後1時30分から

場所：おおぶ文化交流の杜図書館 会議室

以上